

家計調査の改善に向けて

宇南山 卓

(一橋大学経済研究所)

家計調査のサンプルの特徴

- 専業主婦世帯が過大になっている
- 労働力調査と比較して有業人員が0.15人程度
- 人口比率と比べて高齢者世帯の比率が高すぎるのでは？
- 世帯主65歳以上の比率は国勢調査32%、家計調査33%(2010年)
- 公務員が多すぎるのでは？
- 家計調査の有業世帯主のうち「公務」の割合は6.6%
 労働力調査の15～64歳男性就業者のうち「公務」の割合は5.2%

全体として深刻な(消費水準に影響を与えるような)サンプルの偏りはないと考える

パネルC：二人以上世帯 (2009～2010)

	国民生活 (2010)	全国消費 (2009)	家計調査 (2009)	家計消費状況 (2009)	国勢調査 (2010)	労働力調査 (2009)	国民生活Ⅱ (2010)
集計世帯数	20,569	50,836	7,828	17,934	-	6,740	20,569
世帯人員 (人)	3.11	3.10	3.11	3.12	3.10	3.13	3.11
18歳未満人員 (人)	0.53	0.63	0.65	-	0.58	0.60	0.53
65歳以上人員 (人)	0.77	0.66	0.66	-	0.65	0.66	0.77
うち無職者人員 (人)	-	0.51	0.53	-	-	0.51	-
有業人員 (人)	1.52	1.43	1.37	1.49	1.47	1.52	1.52
世帯主の年齢 (歳)	58.5	55.4	55.8	58.8	-	55.7	55.2
世帯主の性別 男 (%)	90.0	90.7	-	-	87.2	90.0	81.3
女 (%)	10.0	9.3	-	-	12.8	10.0	18.7
年間収入 (千円)	6,295	6,482	6,290	-	-	-	6,295

佐野・多田・山本(2015)フィナンシャルレビュー122号

家計調査における収入

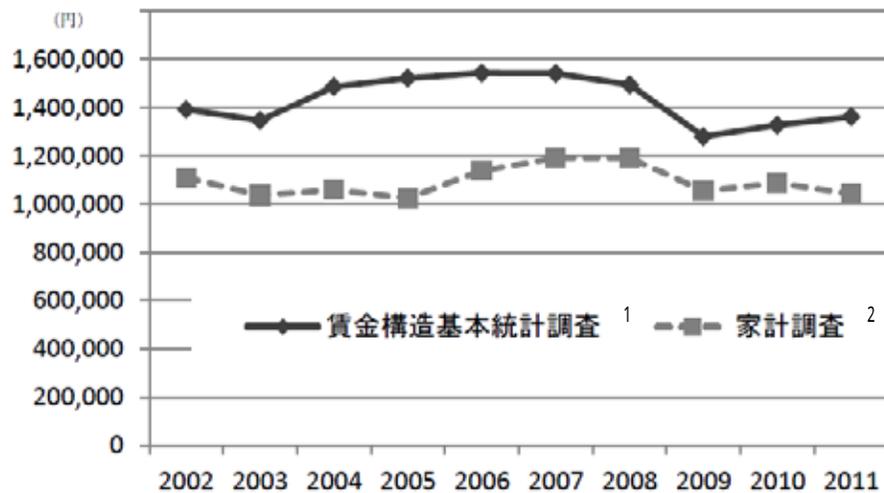
- 年間収入調査票の結果は、全国消費実態調査と類似
 - 全国消費実態調査の年間収入調査票は他の統計と整合的
 - 世帯全体の合計収入で見ると、家計簿の「実収入」が1割程度少ない
 - 「世帯主」の「勤め先収入」のうちの「定期収入」の差は小さい
 - 非世帯主の所得、ボーナス・公的年金等不定期な所得で差が大きい
- 年間収入調査票の充実と活用**
- 収入項目の例示の充実・プリコード化(ただし時系列への配慮は不可欠)**

	2004			2009		
	全国消費実態調査 (年収票)	家計調査 (年収票)	家計調査 (家計簿)	全国消費実態調査 (年収票)	家計調査 (年収票)	家計調査 (家計簿)
世帯年収	744	724	638	711	708	622
勤め先収入	677	-	603	639	-	582
うち世帯主	553	-	524	518	-	503
うち配偶者	86	-	68	85	-	68
うちその他の世帯員	39	-	11	35	-	11
勤め先収入以外の収入	66	-	35	72	-	40
うち公的年金給付	34	-	16	37	-	19
うち企業年金・個人年金給付	6	-	(2)	8	-	(3)
うち事業・内職収入	13	-	4	11	-	3

多田・三好(2015)フィナンシャルレビュー122号・表3に一部を追加

非定期的な所得の把握

賞与の比較

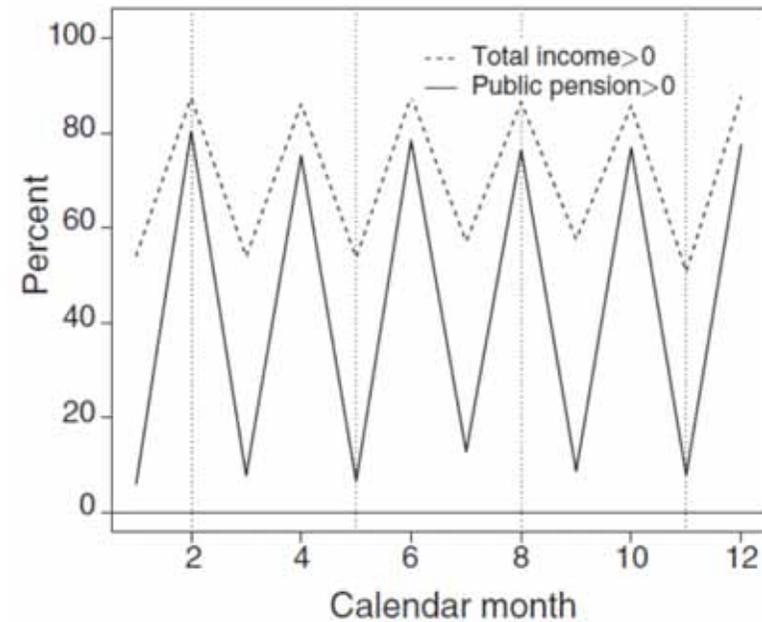


1 40-54歳の雇用者

2 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の40-54歳の世帯主

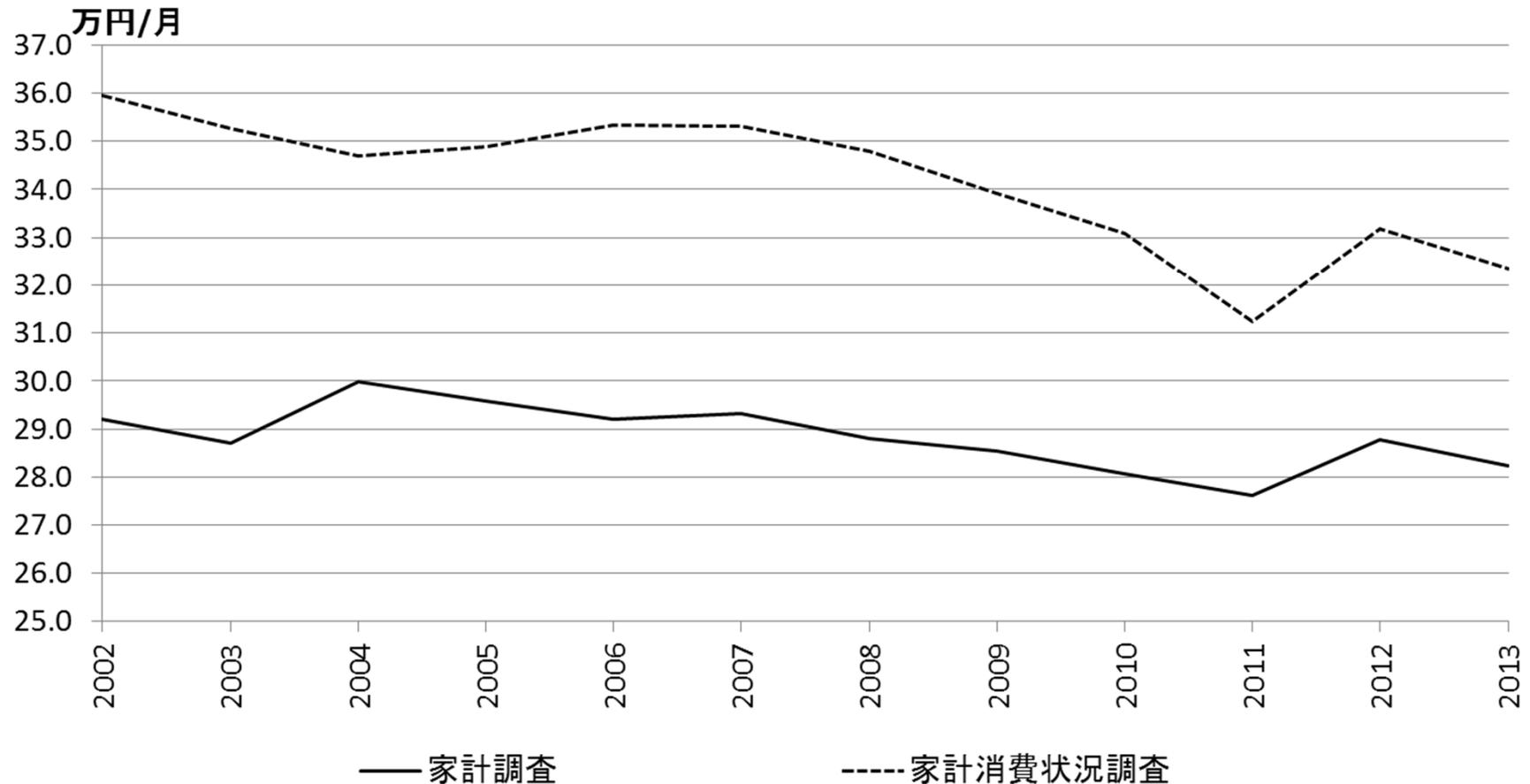
多田・三好(2015)フィナンシャルレビュー122号を編集

公的年金給付の記入者の比率 (65歳以上夫婦無職世帯のうち)



Stephens and Unayama (2012) American Economic Journal: Applied Economics Vol 3.

家計調査と家計消費状況調査 支出総額の推移



宇南山(2015)フィナンシャルレビュー122号・図1を一部抜粋

アフターコードとプリコード

/ 日(火曜日)

I 現金収入又は現金支出

(1) 収入の種類又は支出の品名及び用途	(2) 現金収入 (円)	(3) 数量	単位	(4) 現金支出 (円)
		前期からの繰越金 (手持ち現金)		83,060 円
1 巾着うどん		400	個	320
2 あじ(生)		430	個	330
3 かき(貝)		460	個	400
4 豚肉		330	個	630
5 ほうれん草		300	個	186
6 バターロール(8コ入り)		280	個	200
7 靴下(世帯主)		2	足	1,050
8 ホロシャツ(長女)		1	枚	2,625
9 リンゴ(病気見舞い)		1,950	個	1,800
10 可し出前(乗客用)		4	人前	4,800
11 エアコン月賦支払初回分				26,000
12 酒屋掛買ひ支払10回分				4,500
13 牛乳代10月分(200ml30本)		6,000	ml	2,835
14 〇〇新聞 10月分				3,925
15				
合計				49,601
		本日の現金残高		33,459 円

家計調査・家計簿

■ 2. 特定の商品・サービスの購入金額

(1) あなたの世帯では、今月1か月間(1日~末日)に、次の商品・サービスを購入しましたか。

1 した 2 しなかった → 「2しなかった」と答えた方は次ページ「■ 3. 支出総額」へ進んでください

(2) 次の商品・サービスを購入した際の、今月1か月間の「購入金額」(世帯全体の合計、消費税込み)と「支払い方法、購入日など」を記入してください。

- クレジットカード、掛買い又は月賦で購入した場合は、月々の支払い金額ではなく、購入した商品・サービスの総額を、購入した月に記入してください。
- 事業を営んでいる世帯で、事業用に購入したものは購入金額には含めないでください。

		(月分)	
商品・サービス名		購入金額 (円)	支払い方法、購入日 など
通信	01 スマートフォン・携帯電話・PHSの通信・通話使用料 (パケット料金を含む)		
	02 インターネット接続料 (ケーブルテレビなどとセット契約している場合も含む)		
家具など	03 たんす		
	04 ベッド		
	05 布団		
	06 食器戸棚		
衣類	07 応接セット		
	08 高価 (商品を含む)		
	09 寝具類 (上着のみ、ボロシのみは除く)		
	10 婦人用スウェー・ワンピース (上着のみ、スカートのみは除く)		
	11 和服 (男子用・婦人用) (着物、草履など)		

中略

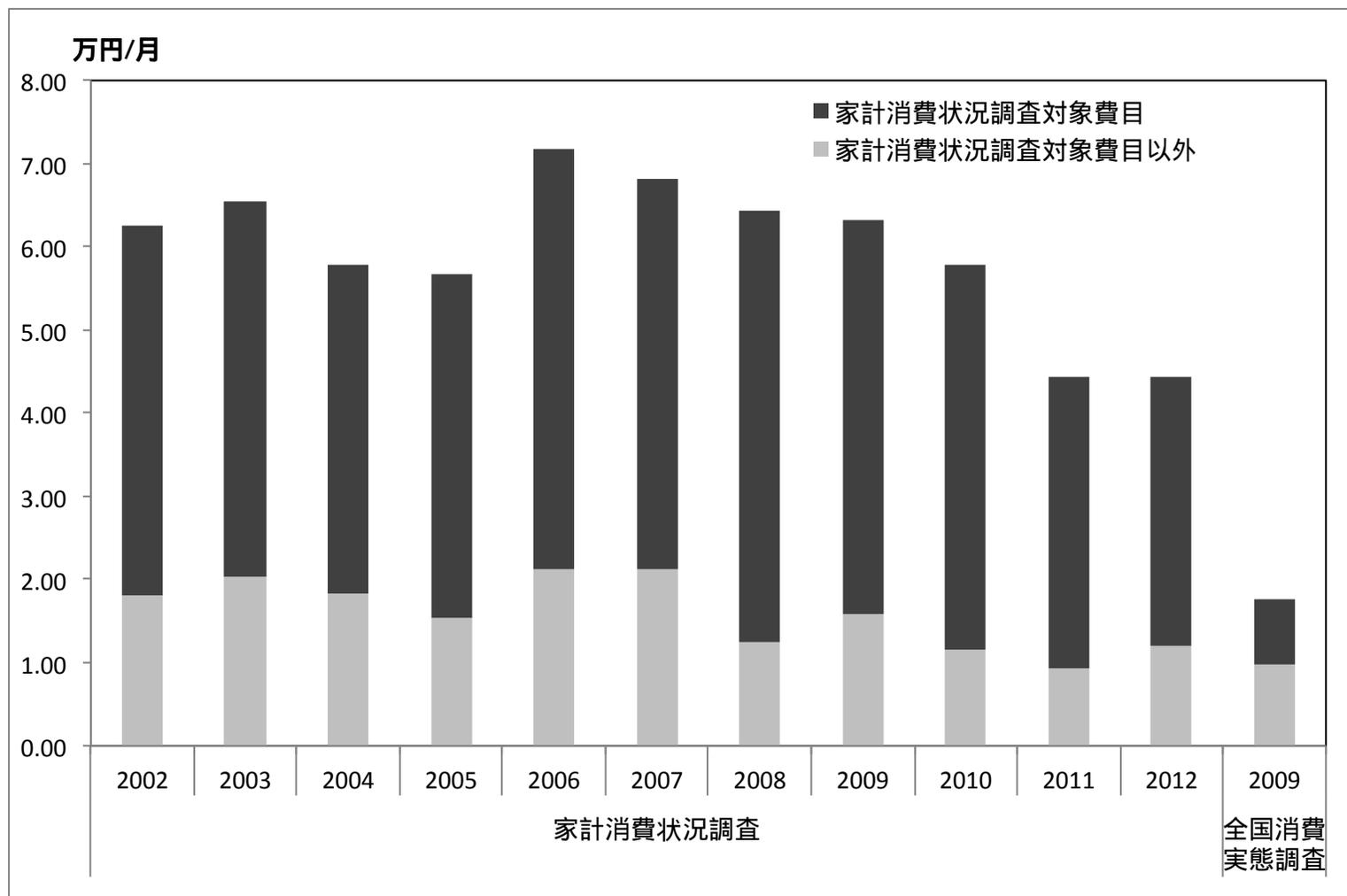
した月に記入

※クレジットカード、掛買い又は月賦で購入した場合の、月々の支払金額

今月の支出総額 (世帯全体の合計、消費税込み)		千	百	十	百	十	百	十	百	十	百	十	百	十	百	十	百	十	百	円
うち 食費 (食料品、飲料、外食費など)																				円
うち 仕送り金と贈与金 (医療、せんに別、見舞金、香典など)																				円

家計消費状況調査・調査票

家計調査と家計消費状況調査： 消費支出総額の差とその源泉



宇南山(2015)フィナンシャル・レビュー122号:図2

家計調査と家計消費状況調査の 品目別の差：単価と支出者の割合

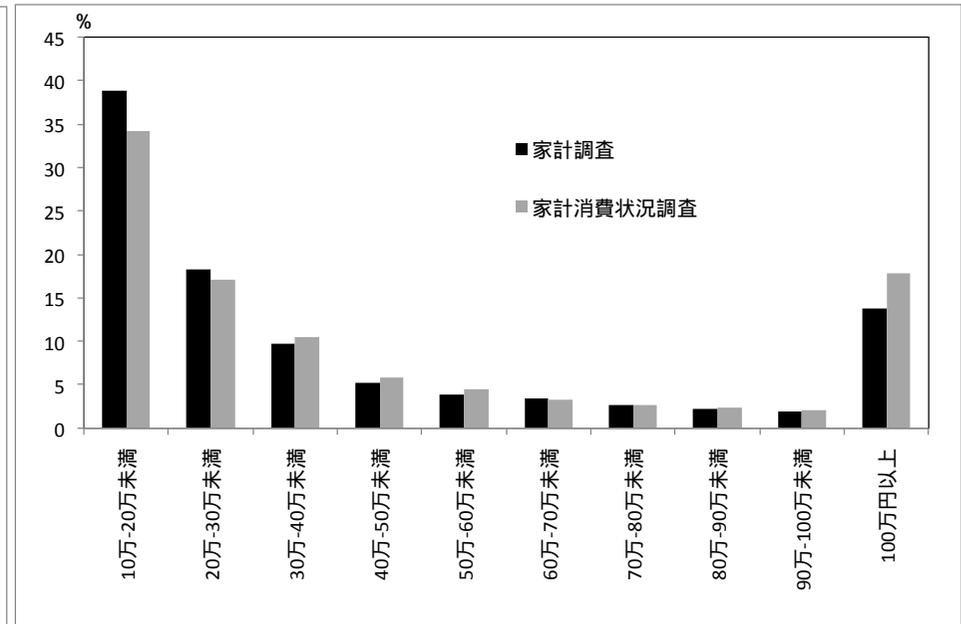
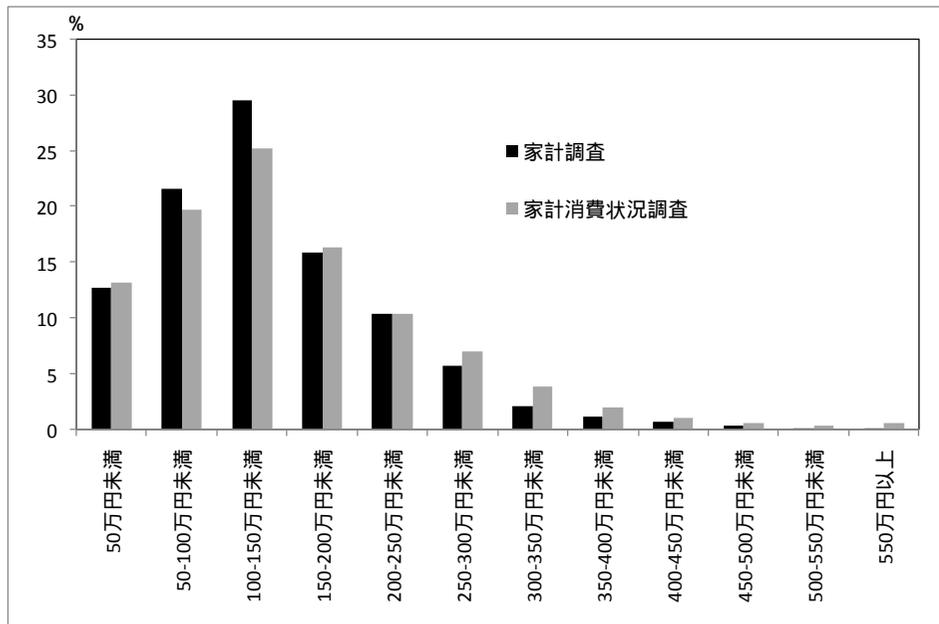
	家計調査			家計消費状況調査			比率		
	支出額	単価	支出者の割合	支出額	単価	支出者の割合	支出額	単価	支出者の割合
携帯電話使用料	6,978	11,278	61.87%	9,178	12,203	75.22%	1.32	1.08	1.22
インターネット・放送受信料	3,596	6,936	51.84%	2,852	5,715	49.90%	0.79	0.82	0.96
自動車	5,394	1,380,000	0.39%	17,233	1,520,000	1.13%	3.19	1.10	2.90
自動車整備費	1,456	24,688	5.90%	4,721	56,050	8.42%	3.24	2.27	1.43
住宅関連	6,741	110,000	6.13%	13,504	181,000	7.48%	2.00	1.65	1.22
家賃	10,423	52,947	19.69%	9,372	53,912	17.38%	0.90	1.02	0.88
診療代	7,366	11,111	66.29%	10,656	15,743	67.69%	1.45	1.42	1.02
授業料等	9,525	40,505	23.52%	12,614	78,637	16.04%	1.32	1.94	0.68
パック旅行費	4,676	37,850	12.35%	6,363	88,042	7.23%	1.36	2.33	0.59
挙式・披露宴費用	592	938,000	0.06%	2,424	973,000	0.25%	4.10	1.04	4.17
葬儀・法事費用	1,506	241,000	0.63%	3,886	395,000	0.98%	2.58	1.64	1.56
信仰関係費	1,879	8,109	23.17%	2,657	30,833	8.62%	1.41	3.80	0.37

家計調査・家計消費状況調査の個票より宇南山が作成

家計調査と家計消費状況調査： 単価の分布（支出ありの世帯のみ）

自動車等購入費

住宅修繕関連



家計調査・家計消費状況調査の個票より宇南山が作成

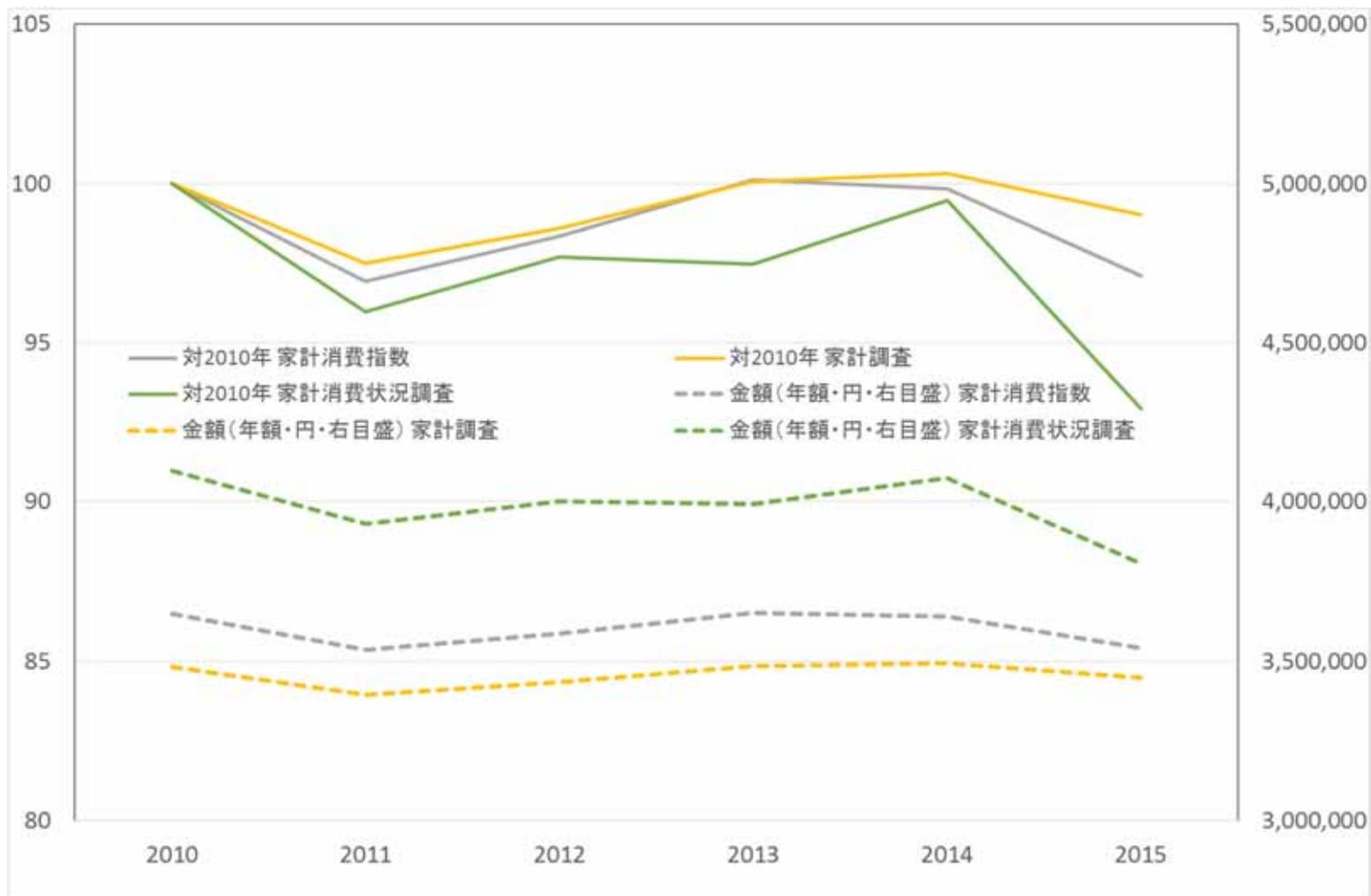
家計簿記入漏れの可能性

- 単価の大きな財・サービスが通常の「家計簿」という概念となじまないため
 - 調査世帯が記入すべきでないとは判断？
- 結婚式や葬式などの儀礼的な行事への支出額を明らかにすることへの心理的抵抗
- 海外旅行・結婚式・葬式などのために多忙で調査に十分に協力できていない可能性

調査方法(自由記入の家計簿方式)の課題

- プリコード方式項目の充実もしくは入力支援
 - 口座振替などによる支出は実質「プリコード方式」
- オンライン調査とすることで一部は緩和

家計消費指数の活用



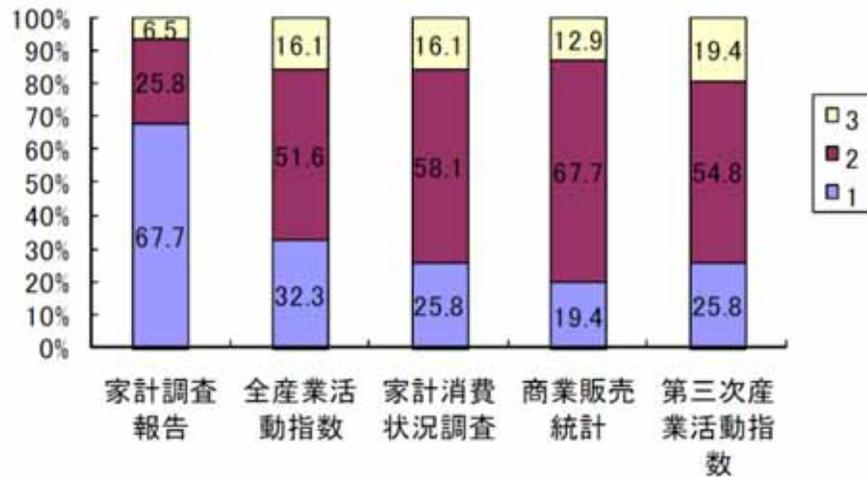
家計調査・家計消費状況調査より作成

家計消費指数の活用への課題

- 家計消費状況調査への信頼性への疑念
 - 実施調査の委託先の変更が結果に影響を与える懸念
 - 2015年以降の家計消費状況調査の支出総額下落の原因解明
- 家計消費状況調査の公表の早期化
 - 家計調査は翌月末であるのに対し翌々月中旬(確報)
- クロス集計の充実
 - 「合成金額」として一部は公表済み
 - 家計調査の「一部プリコード化」がより望ましい解決
 - オンライン化と同時導入で時系列の断絶を最小限に
 - 消費構造の変化把握には家計簿は不可欠

家計調査で景気判断？

景気動向を把握する上での評価ワースト5



永濱(2008)「景気関連統計(一次統計)の現状と課題」NIRA報告書より

民間エコノミストへのアンケートでは
家計調査の評価は低い！

- 家計調査は景気変動をうまく反映していない？

- 家計調査は大きく「ぶれる」
- 供給側統計と乖離する

- 家計調査の調査方法に問題？

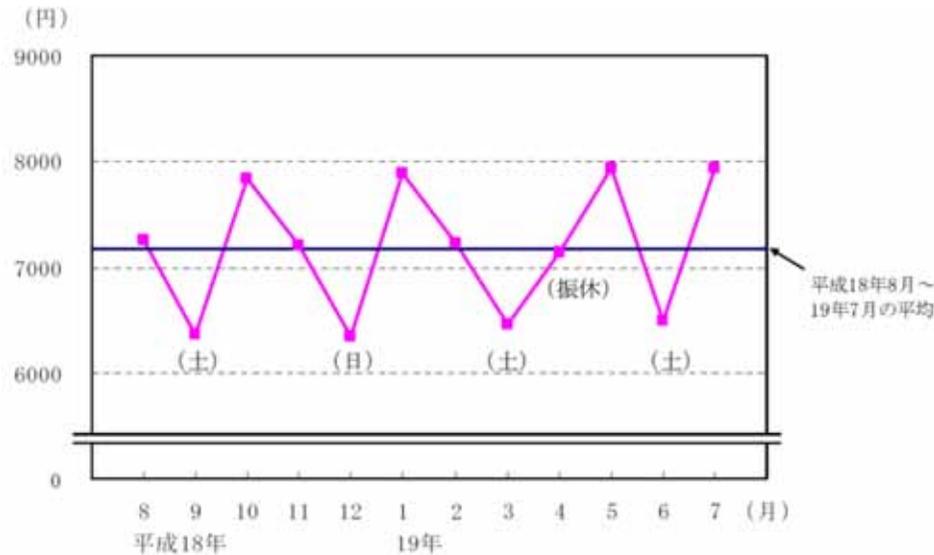
- 調査世帯が少なすぎ？
- 家計簿は不正確？

消費は景気動向以外の要因でも変動する

- その一部は家計固有ではない
= 調査世帯数増では対応できない
- 景気動向の把握以外の目的では重要な情報となる

マクロ的にぶれる消費

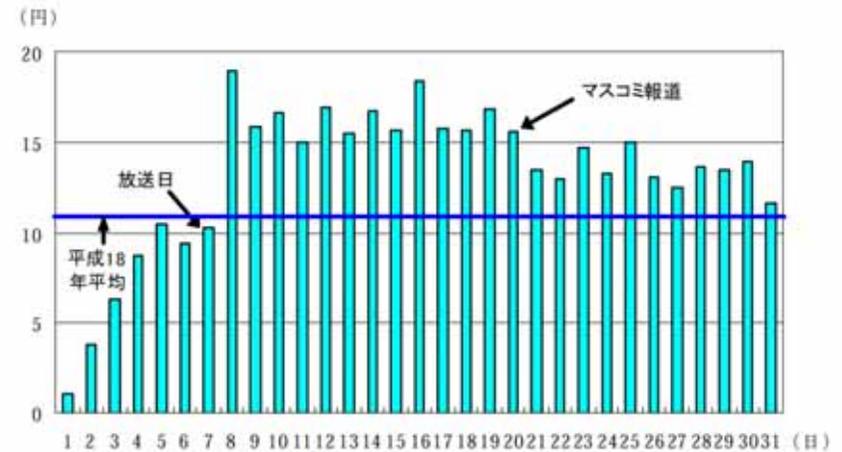
携帯電話支払日と月末の曜日



(注) 括弧内は月末の曜日を表す。ただし、「振休」は祝日の振替休日を表している。

マスコミ報道と消費

図3 納豆への日別支出金額
(平成19年1月)



総務省統計局「家計調査の結果を見る際のポイント No.1」
(<http://www.stat.go.jp/data/kakei/point/pdf/point01.pdf>)

総務省統計局 家計調査通信400号(平成19年6月15日発行)

調査世帯の増加は必要か？

- 「調査世帯の増加が必要」の根拠
 - 消費水準が世帯固有の要因で異なる
 - 標本世帯の入れ替えによってその要因が変動
 - = 消費がぶれる原因は世帯固有の要因
 - 調査世帯を増加させることによって安定化させるべき
- 根拠が正しいとしても効果は期待できない
 - 統計学に基づけば非現実的な調査世帯数が必要
 - 実現してもマクロ的な要因で変動していれば効果なし
- (必要なら)「前年同月比」を世帯ベースで可能とすべき
 - 各世帯の調査期間を1年+ α とする
 - 6カ月目以降は家計消費状況調査のような簡易調査でも可能
 - ただし、現行の標本抽出では各調査区の調査期間は1年であり変更の必要
 - 家計調査の脱落率は低く現実的
 - 毎月の脱落率は2-3%程度
 - 調査負担の大きさは脱落には大きな影響がない

まとめ

- **家計調査のサンプルに大きな偏りはない**
 - サンプリングの方法に抜本的な変更は必要ない
- **家計調査は非基幹的・非経常的な収支に弱い**
 - その他の世帯員の所得、ボーナスなどの不定期収入が過少
 - 自動車購入・住宅工事関連などの高額支出が過少
- **長期的には家計調査の調査方法を改善する余地はある**
 - 一部プリコード化で捕捉率を高める
 - オンライン調査によって記入者の負担を軽減
 - 時系列の断絶をできる限り避けるため、暫時的な導入は避けるべき
- **短期的には、高額消費を家計消費状況調査等で補正することが有効**
 - 家計消費指数の活用
- **家計消費は景気動向以外の(コントロール困難な)要因でも変動する**
 - 景気指標として利用するには一定の誤差は不可避
 - 利用者側の対応が重要
 - 消費統計の調査世帯数の増加は対応できない
 - 景気指標としてではない目的には貴重な情報源